

令和6年度 第35回長崎県特別支援教育研究会総会及び研究大会開催要項

1 大会主題

「多様な学びの場の連続性における個に応じた指導の充実と共生社会の実現を目指して」

2 趣 旨

少子化で学齢期の児童生徒数が減少する中、特別支援学校だけでなく、小中高等学校等においても、特別支援教育を必要とする児童生徒数が増加している。令和4年12月に文部科学省から公表された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」結果では、通常の学級に在籍し、学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒数の割合は、小中学校において推定値 8.8%、高等学校においては推定値 2.2%となっており、全ての通常の学級に特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍している可能性があることが明らかになった。また、平成27年に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」など、障害の有無に問わず、一人一人の力が発揮される環境の整備が求められていることは国際的な潮流からも窺え、学校教育でも、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のために重要な役割を果たすことが求められている。特別支援教育を受ける児童生徒数が増加傾向にあることから、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、通常の学級といった多様な学びの場の連続性において個に応じた「特別支援教育」を推進する必要性が高まっている。さらに、学校において、こうした理念に基づき実践を進めていくためには、「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、という「社会モデル」の考え方の下、全ての教師が、環境整備の重要性を認識し、特別支援教育に関する理解を深め、専門性をもつことが不可欠な状況となっている。

本県においても、令和6年3月に策定された「第四期長崎県教育振興基本計画」（令和6年度から令和10年度）の政策の柱の一番目に「インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進」の理念が掲げられて改革に邁進していくことが、必要不可欠な方針になっていることから、本研究大会では、本会の取組を通して、特別支援教育の推進、共生社会の実現を目指すことを本旨とする。

3 主 催 長崎県特別支援教育研究会

4 共 催 長崎県小学校教育研究会特別支援教育部会
長崎県中学校教育研究会特別支援教育部会

5 後 援 長崎県教育委員会 東彼杵町教育委員会
長崎県高等学校・特別支援教育研究会特別支援教育部会
長崎県特別支援学級設置校長会 長崎県特別支援学校長会

6 大会事務局 長崎県特別支援教育研究会事務局（県立鶴南特別支援学校）
〒851-0401 長崎県長崎市蚊焼町721
電話：095-892-0696 FAX：095-4892-3880

7 期 日 令和6年7月30日（火）

8 会 場 東彼杵町総合会館（〒859-3807 東彼杵郡東彼杵町宿郷706番地4）

9 日 程

9:40 10:00 10:10 10:40 10:50 12:30 13:30 14:15 14:30 15:30 15:50 16:00

受付	開会 行事	総会	休息	講演	昼食	分科会	休息	分科会 研究協議	指導 助言	閉会 行事	

(1) 開会行事 10:00~10:10

(2) 総会 10:10~10:40

- ① 令和5年度事業報告
- ② 令和5年度会計報告・監査報告
- ③ 会則について
- ④ 令和6年度役員紹介
- ⑤ 令和6年度事業計画(案)
- ⑥ 令和6年度予算(案)

(3) 講演 10:50~12:30

- 演題 「学習指導要領に基づく資質・能力を育む教育活動の在り方」
- 講師 国立特別支援教育総合研究所研修事業部総括研究員 武富 博文 先生

(4) 分科会 13:30~15:50

分科会	第1分科会 [小学校] 小学校における 特別支援教育	第2分科会 [中学校] 中学校における 特別支援教育	第3分科会 [特別支援学校] 教科別の指導	第4分科会 [特別支援学校] キャリア教育・進路学 習	第5分科会 [特別支援学校] 自立活動
発表者	長崎市立 虹が丘小学校 教諭 久保田 龍子	長崎市立三和中学校 教諭 篠原 昂太	佐世保特別支援学校 北松分校 教諭 宮原 智珠 教諭 大宮 幸	島原特別支援学校 教諭 狩野 邦徳 教諭 隈部 憲也	鶴南特別支援学校 五島分校 教諭 櫻井 咲紀 教諭 山口奈菜美
テーマ	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり ～やる気と自信をもたせる算数科の実践を通して～	般化のプロセスを重視した自立活動の実践 ～成功体験としての交流学習を目指して～	子供たちの学びを深めるICTの活用 ～高等部におけるICTを活用した授業づくり～	高等部における進路指導の実践 ～地域社会の一員として主体的に生活する力を育むことを目指して～	個々の実態に応じた自立活動の実践に向けて ～小学部における外部専門家を活用した自立活動の指導実践～
司会者	長崎市立大園小学校 教頭 川端 恵美	長崎市立土井首中学校 教諭 永安 千裕	佐世保特別支援学校 北松分校 教頭 坂本 務	島原特別支援学校 教頭 木下 裕一郎	鶴南特別支援学校 五島分校 主幹教諭 友永 光幸
助言者	長崎県教育庁 特別支援教育課 指導主事 多々川 節子	長崎市教育研究所 教育支援係 主任指導主事 平戸 健吉	長崎県教育庁 特別支援教育課 係長 山崎 浩	長崎県教育センター 教育支援研修課 特別支援教育研修班 主任指導主事 大串 尚央	長崎県教育センター 教育支援研修課 特別支援教育研修班 指導主事 福田 和代

(5) 閉会行事 15:50~16:00

10 その他

- (1) 駐車場利用の制限があるため、できるだけ乗り合わせでお越しく下さい。なお、長特研役員校には 別途駐車場の割り振りをいたしますので御協力をお願いします。
- (2) 長特研会員の方の参加費は無料です。会員外の方は、受付にて参加費1,000円をいただきます。
(長特研加入費となり、10月の研修会に無料で参加できます。)
- (3) 参加申込みは7月11日(木)までに別紙参加申込書に記入の上、メール又はFAXにてお願いします。
- (4) 昼食は、各自で御準備ください。
- (5) 分科会の会場については当日、全体会の場で御案内いたします。